

令和7年度 発達障害者思春期・青年期相談援助講座

～発達特性のある人の不登校・非行・自傷～

ルールを守れない、止めると感情の制御が難しくなる、学校や事業所に行き渋る等々・・・どうしたらいいかと悩んだことはありませんか？

思春期・青年期という対応の難しい年代において、発達障害特性のある子どもは身近な家族や支援者とコミュニケーションも難しくなることが少なくありません。ライフステージを通じた一貫した支援のためには、この時期の複雑な心の動きを理解し、寄り添い、支えることが大切です。

今回は、臨床心理士/公認心理師として、不登校や非行のこどもなどを中心に数多くの面接を行っている神崎 洸一先生を講師にお招きしました。不登校、自傷、非行、デジタル機器へののめり込みなど大人が問題だと感じる行動の背景には、何があり、何を得て、何を失っているか検討するとともに、現代の若者との距離感や関わりなどについて考えたいと思います。ぜひ皆様ふるってご参加ください。

かんざき こういち

講師：神崎 洸一 氏（呉みどりヶ丘病院 こどもとそだち支援室

臨床心理士・公認心理師）



NP0法人風の家、浅田病院勤務を経て、現在は呉みどりヶ丘病院に勤務し、児童思春期精神科外来・成人発達外来に携わる。

特に不登校や自傷、市販薬依存など、こどもや若者の行動問題に対する支援に力を注ぐ。家族の相談では、デジタル機器の使用にのめり込み過ぎてしまうこどもへの対応と一緒に考えたり、子どもと両親の間に入って、デジタル機器の約束作りの実践をしている。

訳書『自閉症スペクトラム障害とアルコール依存の始まりから回復まで』（分担翻訳：マシュー・ティンズリー、サラ・ヘンドリックス著、明石書店 2022）

●日 時 令和8年2月13日（金）10：00～12：00

●開催方法 Zoomによるオンライン講座

●定 員 90人（参加費無料）

●対 象 広島市在住で、発達障害の診断を受けた方（おおむね10歳から25歳）の保護者や支援者など

●主 催 広島市こども未来局こども青少年支援部
広島市発達障害者支援センター

●申込方法 左記二次元コードを読み取るか、「広島市 思春期・青年期相談援助講座」で検索して、専用の入力フォームからお申し込みください。



定員を超えて申込があった場合は抽選とさせていただきます。

参加の可否につきましては、申込締切後、開催日の1週間前を目途に申込入力フォームでご入力いただいたメールアドレス宛にお知らせいたします。

●申込期限 令和8年1月30日（金）

●問合せ先 広島市こども未来局こども青少年支援部（障害児支援担当）

TEL：（082）263-0683 FAX：（082）261-0545

e-mail：ko-shien@city.hiroshima.lg.jp